

# 語らいの『泉』

創刊第26号

平成30年

1月31日

発行 泉町自治会

編集 広報係り

泉町住民構成

総人口1278人

男性 607人

女性 671人

世帯数497世帯

高齢化率24.1%

## 「成年」は、 次なるステップの 準備の年



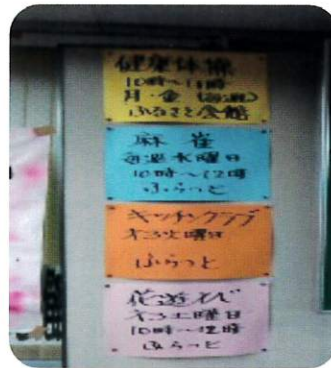
泉町自治会長  
堀井隆彦

寒中お見舞い申

し上げます。  
自治会の皆様には、希望に  
満ち心穏やかな新年を迎えら  
れたと思います。  
本年も宜しくお願いいたし  
ます。

さて、昨年五月二十八日に  
竣工オープンした「ふらっと」  
の利用も月平均二百〜三百人  
となり、高齢者の皆さまや地  
域の方が気軽に立ち寄って頂  
く憩いの場となりつつありま  
す。グラウンドゴルフや健康体

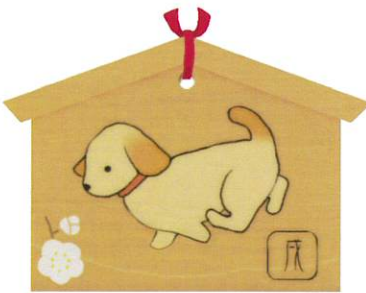
操の後のコミュニケーション  
等など嬉しい限りです。また  
二階には卓球台も設置し今後  
も皆さんのご利用と、更なる  
コミュニケーションを深めて  
いただければと思います。



この年明け、いつも思い出す事は、平  
成七年の阪神・淡路大震災や  
平成二十三年の東日本大震災。  
まだまだ心が痛みます。  
今年も「成年」、草木が  
枯れて休眠する年であり、今  
まで築いてきたものに対して、  
「よし」と言う結果を得たら、  
次なるステップの準備年とも

位置付けられています。

個が強くなり「共に」が欠  
けている時代。「今在る」と  
いうことは先人たちのお蔭と  
思いませんか。「自助」「共  
助」「公助」の認識を新たに、  
皆様の益々のご清福を心より  
ご祈念申し上げ、今年も心開  
き足元がしっかりと進めてい  
たいものです。





# 泉町総合防災訓練のご報告

泉町消防防災部 部長 瀬古勝之

去る十一月十二日に実施しました総合防災訓練では、寒空の中二百五十九名のご参加を頂き誠にありがとうございました。

計画通りに進まなかったにもかかわらず、非常に多くの方が熱心に取り組まれる姿を拝見し、とても心強く感じました。

大規模災害が発生すると頼れるのは自分、また身近な人や道具です。

今回皆さんそれぞれに気付きがあったと思います。それが重要で、風化させないことが重要です。自宅の消火器、耐震設備の再確認や各町で開催される訓練にも積極的に参加するなど防災意識の維持に努めて下さい。自分たちの生命、財産を守るために。



\*この報告を頂きました瀬古部長は、一月七日に行われた守山市消防出初式式典で、『滋賀県消防協会会長長表彰』の精励章表彰、「金賞」を受章されました。

この金賞は、守山市で一人のみの受章でした。おめでとうございました。さらに、泉町から消防団員の三品知寛さんが『守山市長表彰』の守山市長優良団員表彰を受章されました。おめでとうございました。

年始恒例・左義長。今年も雨天でしたが自治会の役員の皆様のご尽力で、無事挙行されました。

毎年、泉町では成人の日に  
行われる伝統行事の「左義長」。  
旧年のお札やお正月飾りなど  
を子ども会が町内を回って集  
め、前日に自治会の役員の方  
が中心となって立てた、竹で  
組んだやぐらに入れます。そ  
れを、当日の朝早くに、子ど  
も会の高学年が、天満宮さん  
からいただいた御神火で着火  
し、竹ととも燃やし、無病  
息災・家内安全・恒久平和な  
どを祈念する行事です。守山  
市の中心地では開催が進み、  
現在左義長を実施している自  
治会も少数となりました。  
泉町は実施場所を転々と変  
えながらも地主様のありがた  
いご理解で現在も続いています。





### 「クリスマス サロンの開催」 ふれあい活動部より

十二月十日(日) クリスマスサロンを開催いたしました。約四十名の出席者でした。

午前中は『よもやま劇場』さんのとっても素晴らしいステーションで、歌謡曲、手品なども見せていただきました。



昼食は、クリスマス料理のかわしのコーラ煮、シチューなどを召し上がっていただきました。

午後からは、ビンゴゲームを行い、その後ケーキ・紅茶を頂き、一日を楽しみました。

### 秋の町民交流会・伊賀の里「モクモク手作りファーム」でソーセージ作り!

\*編集者同行取材

昨年十月二十九日(日)、泉町まちづくり部主催の「町民交流会」に参加し、体験型農園の先駆けとなった、伊賀の里「モクモク手作りファーム」へ出かけました。当日は、あいにくの雨天でしたが、町民交流会最大の九十名近い方の参加されていきました。途中、信楽の陶芸苑たぬき村にたちより、お昼前にもくもくファームに到着しました。まず、昼食に美味しい豚肉たっぷりのバーベキューをいただいた後、園内を散策しました。その後、いくつかのグループに分かれ、手作りウインナーに挑戦しました。皆さん、ほとんどの方が初体験でしたが、楽しそうに真剣に取り組んでおられました。バーベキューやウインナー作りを通じて、日ごろお話ししたことのない町民の方とも知り合いになり、町民交流会の目的でもある、泉町の町民どうしのコミュニケーションを図るいい機会になりました。





\*三津川公園便り

自治会長代理 中野基司

毎年、秋から年末にかけての落葉のシーズンには、道路・歩道・河川と、掃き掃除に大変苦勞しておりました。そこで、昨年堀井会長にお願ひして、吸引型のブロアーの購入を行政に掛け合せて頂いたところ、即決支給していただき本当に年末の掃除の方が助かりました。

四年前、公園中洲の竹藪の破竹に花が咲いたことは報告いたしましたね。その後、竹の葉が落ち、昨年ぐらいいからやは枯れてきました。枯れてきた竹を何かに使用できないか思索しておりましたが、今年あることを思いつきました。それは、子ども会の左義長で青竹の葉が灰になって舞い上がり近隣の方に迷惑をおかけしてありますのでその青竹を、枯れた竹で、困るだけいわばコーティングし、できただけ竹の葉の灰が飛ばないようにしたかどうか、というアイディアです。やってみると、今年は灰の飛び方も少なく、燃え方もスムーズに行き大成功でした。来年からこの

方法で枯れた竹を使用していく予定です。



泉町グラウンドゴルフクラブよりお知らせ

ブの活動は、一月、二月は冬季のため一時お休みいたします。

三月四日(日)九時より、市民体育館横のグラウンドゴルフ場にて再開いたします。

皆様、是非、ご参加ください。



地域環境部より御願ひ

昨年の十月二十五日(水)午前八時ころ、行政の立会いの下「ごみ集積所立会い啓発」が行われました。

今回は、破砕ゴミの搬出状況の確認でした。残念ながら、この集合住宅横の集積所にはすべの袋に記名がされておりませごみでした。また、トレイ類や紙ごみ、ペットボトルなどの混入も見られました。

皆さんの分別によるごみの搬出によって、環境センターの焼却炉が長持ちし、皆さんの税金が有効に使われます。ゴミの分別収集にご協力をお願いいたします。



編集後記 泉町の皆様、今年もよろしくお願ひいたします。さて、昨年十二月に、広報誌『語らいの『泉』』の『号外』なるものを初めて発行し、回覧させていただきました。泉町の取り組みが評価され、研究論文に掲載された、と言うおめでとうのことを、いち早く皆様に知っていただきましたからです。今後も即時性を大事にしていきます。(K.U)